

# Vegetable & Flower Cultivation Course

## ● 畑作園芸課程の特徴

野菜・花き部門における優れた担い手を育成するため、野菜及び花きコースを設け、露地野菜、施設野菜、花き及び水稻に関する生理生態や栽培の基本技術、経営的手法などについて、座学と実習による実践的な学習を実施します。

### <野菜コース>

青森県を代表する露地野菜であるながいも、にんにく、ごぼうのほか、水稻等の省力化技術、高品質・多収技術などについて学びます。また、ガラス温室やパイプハウスを利用した、トマト、きゅうり、いちご等施設野菜の栽培技術の習得を目指します。

### <花きコース>

キク、トルコギキョウ等の切り花類やシクラメン等の鉢花の栽培方法などについて学びます。また、開花調節技術等の習得を目指します。



にんにく調製作業



白ネギの出荷調製



キュウリのつり下げ作業

## ● 卒業生の声



八橋 知弘 (やつはし ちひろ) 平成29年度卒業 畑作園芸課程

在学中は、野菜や水稻などの栽培技術や直売所での販売技術・マーケティングについて学ぶことができました。実習では、各作物に触れ、栽培管理や農業機械の操作方法などを身体で体験し学ぶことができました。他にもフォークリフトや大特などの免許や資格を取得することができました。

就職した農協では、農家や後継者を対象に婚活の企画運営や外国人実習生の受入などの仕事をしていました。現在は人事異動で農薬や肥料・農業資材の販売などの仕事をしています。

まだまだ学ぶことが多いですが、これからしっかりと勉強し、農家のサポートができるよう日々努力していきたいと思っています。



## Stock Raising Course

## ● 畜産課程の特徴

優れた畜産の担い手を育成するため、肉用牛と乳用牛の飼養管理技術、飼料作物の栽培・収穫・調製技術、経営技術などについて、座学と実習による実践的な学習を実施します。

## ＜畜産コース＞

## ◇肉牛

電気牧柵利用による放牧管理技術、高品質牛肉生産のための飼養管理技術などについて学びます。

## ◇酪農

繋ぎ飼い牛舎とパイプライン方式の搾乳による酪農経営技術、高泌乳牛に対応した飼養管理技術などについて学びます。



肉用牛の出荷



直腸検査実習



牧草の収量調査

## ● 卒業生の声



## 荒谷 涼香 (あらや すずか) 平成29年度卒業 畜産課程

私は営農大学を卒業後、一年以内に繁殖肉牛農家として新規就農を始めました。就農するまで、準備や手続きなどがトントン拍子にいかないことが多く、学生のとき以上に大変でしたが、今は楽しく仕事できています。

在学中に取得したけん引、削蹄師、無人ヘリ、家畜人工授精師などの資格は、現在も思う存分仕事に活用できています。特に削蹄と家畜人工授精については、毎月行っていることもあり、この資格を取れて本当に良かったと思っています。

現在は親牛が8頭いますが、最終的には15頭近くまで増やしたいです。そして、将来的には、家畜人工授精などで市内の農家さんを回って歩くのが目標です。



# Fruit Cultivation Course

## ● 果樹課程の特徴

果樹部門における優れた担い手を育成するため、りんご及び一般果樹コースを設け、果樹全般の基本技術、経営的手法などについて、座学と実習による実践的な学習を実施します。

### <りんごコース>

全国一の生産量を誇るりんごの栽培管理方法、主要品種及び有望品種の栽培特性などについて学びます。また、施肥、剪定等管理技術の習得を目指します。

### <一般果樹コース>

青森県内で産地化が進んでいる、ぶどう、和・洋なし、おうとう、ブルーベリー、ももの栽培管理方法や作目・品種の選択方法、果樹複合経営に向けた作業管理方法の習得を目指します。



モモの毛ばたき授粉



りんご摘果

## ● 卒業生の声

北上 真紗也 (きたかみ まさや) 平成30年度卒業 果樹課程



私は営農大学校を卒業後就農し、父の元でりんご栽培をしています。営農大学校では、新規就農者でもりんご栽培に取り組めるよう、果樹に関する技術、栽培方法を学ぶことができます。他にも大特免許を始め様々な資格が取得でき、現在とても役立っています。また、農業を営むには情報交換のため仲間を増やすことが大切だと思っていますが、在学中に先輩農家と交流を深められる行事があるので、卒業後も永く相談できる仲間が増えます。

実家では数年前からりんごの有機JAS認証栽培を行っており、今では大手企業も我が家のりんごを扱ってくれています。私も、父に続いて、認定事業者を目指しており、近いうちの認定を目標に頑張っています。今後もいろいろな情報を収集しながら、自分なりの農業を築き上げていきたいです。